

1 題材名 みんなちがってみんないい（区別と差別編）

2 題材について

本学級の○年生は、明るくていろいろなことをよく話す4名である。テレビのニュース番組をよく見ていて、昨日のニュースを話題にすると、いろいろな出来事を知っている。本教室で授業があるときには、我先にと教室に入って来て、バランスボールやトランポリン等で遊び、一見とても仲がいいように見える。しかし、言葉遣いが悪かったり、できない友達を責めたりする場面が見られることがある。現時点で大きな問題は起きていないが、本学級には外国人児童や性同一性障害が疑われる児童も在籍していることを考えると、差別や偏見、多様性等の学習は、児童たちの自立のために必要不可欠である。

私たちは、一人ひとりが人権を尊重され、幸せに生きる権利をもっている。しかし、世の中にはインターネット上の誹謗中傷や外国人に対する差別、同和問題、いじめ・虐待といった子どもに対する問題等、様々な人権侵害（人権課題）があり、差別や偏見に苦しむ人たちが存在する。平成以降、セクハラ、パワハラと言った「〇〇ハラ（〇〇ハラスメント）」の言葉が使われるようになり、最近では顧客が従業員に対するハラスメントであるカスハラ（カスタマーハラスメント）の報道を耳にすることが多くなったが、これも人権侵害の一つである。国際連合では、「人権教育のための世界計画」でSDGs（持続可能な開発目標）と連動した取組が示され、人権教育の推進は国際的な潮流となっている。日本では、令和4年度の啓発活動強調事項で17の人権問題を挙げ、その解決に向けた取組を進めている。茨城県でも、令和4年に策定した「第2次茨城県総合計画～『新しい茨城への挑戦』～」において、「多様性を認め合い、一人ひとりが尊重される社会づくり」を掲げ、様々な人権課題に対し積極的な施策に取り組んでいる。大みか小学校では、グランドデザインに「ふわふわ言葉」の奨励が盛り込まれ、言語環境の整備に努めることを意識した活動を行っている。

そこで、本題材では言葉遣いや態度だけでなく、法務省が啓発活動の重点活動としている17の人権課題から児童にとって身近なことを取り上げる。まずは人権問題を知ることから始め、知ることから学び、学ぶことから行動に移せるようにしていく。指導にあたっては、児童の感性に働きかけ共感的理解を得るために有効な様々な人権課題を扱った人権教育視聴覚教材（DVD）を県人権教育室から借りて視聴したり、最近の人権問題の新聞記事を提示したりして、自分事として捉えられるようにしたい。また、不器用な児童や整理整頓が苦手な児童が自分の困難なことを改善・克服することを目指して、活動の中に紙を切ったり、のりで貼ったりすることも取り入れる。さらに、例えば人種差別を取り上げたときは、差別と戦った野口英世、杉原千畝、キング牧師、アンネフランク等についても触れ、図書室にある彼らの学習漫画の紹介や伝記の読み聞かせ、「味見読書」等をすることで、読書活動の一助にもしていく。

3 児童の実態と個別目標

児童	実 態	目 標
A	<ul style="list-style-type: none"> 自分ができることができない友達を責めることがある。 難しいと思ったことを簡単に諦めてしまうことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達を励ましたり、一緒に活動したりできる。【6-(5)】 すぐに諦めないで、挑戦することができる。【3-(3)】
B	<ul style="list-style-type: none"> 友達に強く言われると、言い返すことができない。 整理整頓が苦手で、片付けができない。 	<ul style="list-style-type: none"> 嫌なことに対して、やめてほしいことを相手に伝えることができる。【3-(1)】 使ったものを元の場所に片付けることができる。【2-(3)】
C	<ul style="list-style-type: none"> 言葉遣いが悪いときがある。 知らないことでも、「知ってる。」と言う等、虚勢を張ることがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 正しい言葉遣いで話すことができる。【6-(2)】 正しい言動で生活することができる。【3-(4)】
D	<ul style="list-style-type: none"> 集中力が持続せず、すぐに飽きてしまう。 はさみで決められた形を切るような、細かい作業が苦手である。 	<ul style="list-style-type: none"> 目標の時間まで活動を続けることができる。【2-(3)】 紙を決められた形に丁寧に切って、貼ることができる。【2-(3)】

4 題材の指導計画（6時間扱い）

第一次 人権問題を知ろう（えっ！これも人権？編）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間
 第二次 みんなちがってみんないい（区別と差別編、いじめ編、偏見編、多様性編、他）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5時間

時	主な学習活動	評価規準（観点）	評価方法
1 本時	<ul style="list-style-type: none"> ポスターに描かれている人たちをいろいろな視点で分ける。 区別と差別の違いを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ポスターに描かれている人たちを、自分なりの視点で分けることができる。 区別と差別の違いを理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート 発表
2～5	<ul style="list-style-type: none"> 小学生対象の人権教育視聴覚教材DVDを視聴する。 自分にできることを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 世の中に存在する様々な人権問題を知ることができる。 これからの行動を考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート 発表

5 本時の学習

(1) 目標

- A ・友達を励ましたり、一緒に活動したりできる。 【6-(5)】
- B ・使ったものを元の場所に片付けることができる。 【2-(3)】
- C ・正しい言葉遣いで話すことができる。 【3-(4)】
- D ・紙を決められた形に丁寧に切って、貼ることができる。 【2-(3)】

(2) 準備・資料

- ・令和5年度茨城県人権啓発ポスターコンクール 最優秀グランプリ賞のポスター（掲示用、A4版、切り取り用） ・ワークシート ・はさみ ・のり ・タブレット ・ジャッキーロビンソンのドジャースの写真 ・普段の試合の大谷翔平選手の写真 ・6月3日東京新聞朝刊のコラム ・学習漫画

(3) 展開 ☆根拠や理由を明確にして自分の思いや考えを表現するための手立て ◇ICT機器の効果的活用

	学習活動及び内容	児童への支援と評価
△ 導入 5分 ▽	<p>1 学習内容の確認をする。</p> <p>(1)前時の学習を確認する。</p> <p>(2)本時の活動内容を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>人権問題を知ろう ～区別と差別編～</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・どんな人権問題があったのか、前時の学習を思い出しやすいように、前時に見た人権啓発ポスターの一枚を掲示する。 ◇いつでも確認できるように、前時に見た令和5年度の茨城県人権啓発ポスター（小学校、中学校、特別支援学校の最優秀賞、優秀賞）をダウンロードしてタブレットに保存しておく。
△ 展開 35分 ▽	<p>2 ポスターに描かれている人々をいろいろな視点で分ける。</p> <p>(1)分け方の手本を見る。</p> <p>(2)どう分けるか考えて、それぞれの絵を切って、ワークシートに貼る。</p> <p>(3)どの視点で分けたのか記入する。</p> <p>3 どの視点で分けたのか発表する。</p> <p>4 区別と差別の違いを知る。</p> <p>(1)新聞のコラムの音読を聞く。</p> <p>(2)ジャッキーロビンソンの写真を見て、普段との違いを考える。</p> <p>(3)どうしてこのような日があるのか考える。</p> <p>(4)区別と差別の違いを考え、発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全体：けがをしないように、はさみの使い方を確認する。 ・区別がたくさんできるように、多くの人々が描かれている令和5年度の茨城県人権啓発ポスター（最優秀グランプリ賞）を使用する。 ・作業しやすいように、一人に机を2つ用意して、作業する場所と道具を置く場所を確保する。 ・視点は目立つように黄色のチョークで書き、その両側に絵を貼る（ワークシートも同じ配置）。 ・視点を確認しやすいように、切った絵を拡大したものを黒板に掲示する。 ・差別が分かるように、黒人選手の記録が認められなかった時代があったことが書かれた新聞のコラムを紹介する。 ・過去の過ちをなくすための活動が分かるように、全員が同じ背番号をつけたアメリカ大リーグのジャッキーロビンソンの写真を提示する。また、違いがよく分かるように、大谷翔平選手の通常の写真も用意しておく。 ・コラムの内容が理解しやすいように、コラムは配付する。 ・区別と差別の違いを考えやすいように、ワークシートに、「区別とは～、差別とは～」という穴埋めの欄を作っておく。
△ 終末 5分 ▽	<p>5 本時の活動の振り返りをする。</p> <p>(1)感想発表をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区別と差別はすごい違うことだと分かった。 ・差別をされると、された人は嫌な気持ちになるので、差別は絶対にしない。 ・差別をしている人がいたら、注意する。 <p>(2)学習漫画の紹介をする。</p> <p>(3)（時間があれば、簡単な読み聞かせを聞く。）</p> <p>6 次時の学習の確認と終わりのあいさつをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ☆感想発表は、「区別と差別について分かったこと」か「これから自分にできる行動は何か」から一つ自己選択して発表することを伝え、考える時間を確保する。 ・全体：活動意欲が継続されるように、上手にできたこと（作業や発表）を称賛する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(評)</p> <ul style="list-style-type: none"> A：友達を励ましたり、一緒に活動したりできる。 【6-(5)】 B：使ったものを元の場所に片付けることができる。 【2-(3)】 C：正しい言葉遣いで話すことができる。 【3-(4)】 D：紙を決められた形に丁寧に切って、貼ることができる。 【2-(3)】 <p>【目標を達成した児童の姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> A：諦めないで挑戦し、友達と仲良く活動している。 B：友だちと仲良く活動し、後片付けをしている。 C：正しい言動で活動している。 D：紙を丁寧に切ったり貼ったりして、目標の時間まで集中して活動している。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・次時への見通しをもち学習意欲を維持できるように、自分たちにとって身近な「いじめ」についての学習をすることを伝える。